

〔 7 〕 地球温暖化対策

7-1 概要

地球温暖化とは、人の活動の拡大により二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中の濃度が高まり、地表面の温度が上昇し、その結果として気候の変動が引き起こされることです。

地球温暖化の影響は、海水面の上昇、低地の水没、異常気象の発生などで、地球規模の問題となっています。これは日本においても例外でなく、洪水や干ばつによる食糧の不足、風水害による直接の被害、温暖化に伴いマラリア等疫病の蔓延による健康被害が発生するなど、深刻な事態を引き起こすことが懸念されています。

町では地球温暖化を防止するため、地球温暖化防止活動推進員と協働し、二酸化炭素排出量削減のための啓発活動を実施しています。

7-2 啓発活動

エコドライブキャンペーン

地球温暖化防止活動推進員、ガールスカウトと共同し、商工会青年部主催ふれあい広場にて、のぼり旗と横断幕を掲げ、エコドライブを呼びかけるチラシを配布しました。

実施日	平成21年7月25日（土）
場 所	ラディアン
実施者	16名

エコライフにチャレンジ

夏休み中、小学生に家庭でできるエコ活動を記載したチャレンジシートを配布し、環境にやさしい生活ができた日、できない日を色塗りしてもらい、日頃の二酸化炭素削減を啓発しました。

実施期間	夏休み
参加児童	660名(回収枚数)

マイふろしきを作ろう

二宮小学校のイベント「にのっこパーク」の講座の一環として、地球温暖化防止活動推進員、PTAと協働で「マイふろしき作り」を実施しました。児童がふろしき作りや使い方を学ぶことを通じて、レジ袋削減への一助とし、地球温暖化対策への意識啓発につなげました。

実施日	平成21年11月19日（木）
参加児童	26名

7-3 グリーン購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。グリーン購入は、購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていくことが期待されています。

平成13年4月に「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」が施行されたことを受け、町では平成15年8月「二宮町グリーン購入基本方針」を策定し、環境に配慮した物品を購入するよう努めています。

調達率内訳

分類	物品等名	全体の購入数	グリーン物品購入数	調達実績	備考
紙類	コピー用紙、印刷用紙、トレットペーパー等	4,893,202	4,708,824	96.23%	
文具類	ボールペン、ファイル、封筒等	67,192	63,504	94.51%	
機器類	椅子、机等	209	203	97.13%	
OA機器	電子計算機、デジタル印刷機等	14	4	28.57%	
家電製品	テレビジョン受信機、ビデオテープレコーダー等	3	2	66.67%	
エアコンディショナー等	エアコンディショナー、ストーブ等	0	0	—	購入なし
温水器等	電気給湯器、ガス調理機器等	4	3	75%	
照明	蛍光管等	373	61	16.35%	
自動車	自動車、ETC対応車機器等	1	1	100%	
消火器	消火器	54	54	100%	
制服・作業服	制服、作業服	291	240	82.47%	
インテリア・寝装	布団、マットレス等	23	0	0%	
作業手袋	作業手袋	1,462	1,118	76.47%	
その他繊維製品	ブルーシート、防球ネット等	1	0	0%	

7-4 公共施設の新エネルギー活用状況

エネルギー区分	施設名称	所在地	設置年度	設置台数	発電容量合計	設備概要
太陽光発電	二宮町 IT ふれあい館	二宮町 二宮 823	平成14年	1	5.0kw	IT機器の稼働電力として利用
	二宮町生涯学習センター	二宮町 二宮 1240-10	平成12年	3	0.054kw	外灯(18w)3基設置 ※故障のため平成21年7月に休止
クリーンエネルギー自動車	ハイブリッド自動車		平成14年	1		公用車利用

7-5 太陽光発電補助金

平成21年度からは住宅用太陽光発電システムを自宅に設置する方に、設置費用の一部補助を開始し、新エネルギー導入を推進しています。

補助件数	15件
------	-----